

## 強固な金融システム確立に向けた諸課題

日本総合研究所 足立 茂

### 1. 金融システム安定化のために要した社会的コスト

社会的コストには公的資金投入(資本増強、資金援助で約 37 兆円)、中小企業を主対象とした政策金融機関による資金繰り支援・特別信用保証制度等の直接コストのほかに、不良債権問題がもたらした景気下押し圧力や超低金利政策の持続による家計の得べかりし利子所得の遺失(日銀試算 180 兆円)などの間接コストを含めるべきとの考え方もある。しかし、超低金利政策は企業のリストラ・財務体質改善などを通じ不良債権問題の解決を促進した面もあり総合的に判断する必要。不良債権処理の終焉が金融システム安定化に繋がったことを勘案すると、その社会的コストは銀行の不良債権処分損(約 100 兆円)に収斂するのではないか。

### 2.何故、社会的コストがかくも膨らんだのか

「信用リスクが銀行に集中する金融システム」が社会的コスト増大の主因。バブル期における銀行内部のガバナンス欠如(マーケティング・審査の一体組織)と資産価格に過度に依存した信用膨張、銀行のリスク管理技術の遅れ(個別管理への固執、特定産業への融資集中リスクやポ - トフォリオ概念の欠如)、銀行・規制当局の問題先送り行動、資本注入・破綻処理・企業再生等制度インフラ整備の遅れなども社会的コスト増大要因。

### 3.不良債権問題の教訓は生きているか

リスク分散型貸出の増加(シンジケートローン、ビジネスローン・CLO 等ポ - トフォリオ型貸出)、住宅ローンの証券化、キャッシュフロー - 重視貸出など最近の貸出行動を見る限り、貸出モデルは変貌しつつある。しかし、資金需要が盛り上がりを欠くなか、過当競争が生じており、今後の信用コスト率次第では貸出採算が確保できない恐れがある。

### 4.強固な金融システム確立に向けた諸課題

教訓を生かし、強固な金融システムを確立するには残された課題としてクレジット市場の拡大(とりわけ、貸出債権流通市場)を通じた相対貸出の金利適正化、アクティブ・ポ - トフォリオマネジメントの実践、リスクキャピタル対比収益率での経営管理の徹底と経営者の意識改革などがある。